財務・会計

2026年合格目標 TAC教材

1次公開模試　第2問

ウ　有形固定資産の減価償却累計額や貸倒引当金は、原則として貸借対照表の負債の部に計上し、該当する資産の取得原価や債権金額から間接的に控除する形式で表示しなければならない。(×)

1次完成答練②　第7問

損益計算書項目のうち、販売費及び一般管理費の区分に含まれるものとして、最も適切なものはどれか。

エ　減価償却費（製造業における製造現場で使用される設備に係るもの）(×)

1次上級答練　第1問

エ　長期借入金のうち、時の経過により返済期日が決算日の翌日から起算して1年以内となったものは、流動負債に分類される。(○)

1次完成答練①　第23問

エ　法人税を考慮した場合でも、倒産リスクを考慮すると負債比率を増加させるほど企業価値は上昇する。(×)

1次完成答練①　第13問

現在、既存製品への特別注文がきている。次の資料に基づき、特別注文を受けることによる追加的な損益の金額として、最も適切なものを下記の解答群から選べ。なお、損失の場合には△を付すこととする。

【資料】
- 現在の生産量　800単位
- 余剰生産能力　200単位
- 販売価格300円、1単位当たり変動費210円、固定費30,000円
- 新規顧客より、販売価格270円で300単位の特別注文が入った。なお、特別注文については部分的に注文を引き受けることはできない。
- 特別注文に応じることで固定費への影響はないが、現在の生産量を減らすことで対応する。
- 特別注文を引き受ける場合、現在の販売価格も270円に引き下げなければならない。

〔解答群〕
ア　△12,000円（○）
イ　3,000円（×）
ウ　6,000円（×）
エ　9,000円（×）

令和8年度 中小企業診断士1次試験

本試験　第2問

以下の決算整理後残高試算表および貸借対照表に関する文章の空欄A～Cに入る勘定科目の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。なお、いずれの勘定科目も貸借対照表に表示されている。

［A］は、決算整理後残高試算表では貸方に計上され、勘定式の貸借対照表においては借方の資産の部に表示される。
［B］は、決算整理後残高試算表では貸方に計上され、勘定式の貸借対照表においては貸方の負債の部に表示される。
［C］は、決算整理後残高試算表では借方に計上され、勘定式の貸借対照表においては貸方の純資産の部に表示される。

〔解答群〕
ア　A：貸倒引当金　B：社債発行費　C：自己株式（×）
イ　A：貸倒引当金　B：賞与引当金　C：自己株式（○）
ウ　A：減価償却累計額　B：社債発行費　C：利益準備金（×）
エ　A：減価償却累計額　B：賞与引当金　C：利益準備金（×）
オ　A：賞与引当金　B：社債発行費　C：利益準備金（×）

本試験　第5問

エ　有形固定資産の減価償却費は、損益計算書において販売費及び一般管理費として表示される。(×)

本試験　第8問

ウ　貸借対照表において、決算日の翌日から起算して1年以内に返済期限が到来する長期借入金は、流動負債に属するものとして表示する。(○)

本試験　第15問

イ　法人税と債務不履行リスクがともに存在する場合、自己資本比率が高まると企業価値は高くなる。(×)

本試験　第17問

当社の製造部門は、Y製品の受注増加に対応するため、現在は使用していない倉庫を活用し、月間800個増産することを検討している。以下の資料に基づき、増産する場合と倉庫を転貸する場合の差額利益として、最も適切なものを下記の解答群から選べ。

【資料】
① 遊休倉庫に関するデータ
- 当該倉庫に関する月間賃借料は300,000円であるが、増産の有無にかかわらず発生する。
- 増産した場合には、追加的に月間80,000円の管理費が発生する。
- 増産しない場合、当該倉庫を外部へ転貸できる。月間240,000円の転貸料収入が得られるが、追加的に月間20,000円の管理費が発生する。増産する場合は転貸できない。

② Y製品に関するデータ
- Y製品の販売価格は1,800円であり、単位当たり変動費は1,200円である。

〔解答群〕
ア　100,000円（×）
イ　180,000円（○）
ウ　400,000円（×）
エ　620,000円（×）